

## 【川西町】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領を踏まえ、中央教育審議会から『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）』が示されている。個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進していくには、学校教育の基盤的なツールとしてICTは必要不可欠なものである。

本町においては、第3期川西町教育大綱において、施策の柱として「ICTを活用した学習の充実」をあげている。これまで進めてきた一人一台端末の整備や全通常学級への電子黒板の配置、高速大容量ネットワーク環境を生かしたICT教育を進めることにより、学習指導の効果を高め教育の質の向上を目指す。

#### 2. GIGA第1期の総括

GIGA第一期では一人一台端末の整備を行い、端末の効果を最大限発揮できるよう全通常学級への電子黒板の導入や、デジタル教材・学習支援ソフトの購入を行い、ICT環境を充実させることができた。その環境を最大限に活用できるよう、各校のICT担当者を中心とした町ICT教育推進委員会を設置し、ICT教育の充実を図ってきた。その中で、情報活用能力育成のためのカリキュラム表を作成し、どの学校でも確実な技能や情報活用能力の育成が図られてきた。また、ICTを有効活用した実践を集めた実践事例集を作成し、好事例の横展開を図ってきた。これらの取り組みにより、一人一台端末の授業や家庭での活用が日常的になってきている。

一方で、積極的な活用が進むにつれて課題についても明らかになってきている。学校間や教職員間において活用状況に差が見られるため、それぞれの教職員のスキルに合わせた研修の開催や、日常的な校内OJTなどが必要である。また、年々故障や破損等が多くなってきているため、今後も適切な機器更新を継続的に実施していく必要がある。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

GIGAスクール構想により一人一台端末等の整備・活用を始めてから4年目に入り、授業や家庭学習での端末の日常的な活用が進んでいる。児童生徒の学びの道具としての一人一台端末は、端末整備・更新計画に基づき、引き続き適切に維持・更新していくことを前提として、以下のように利活用していく。

##### (1) 協働的な学び・個別最適な学びへの利活用

学習支援ソフトにより個々の考えを可視化し、クラウド上で共有化することを通し、協働的な学びによる対話的で深い学びを充実させていく。また、個別最適な学びのためのデジタルドリルの活用を進めるとともに、課題に取り組む際に使用するツールを自己選択させることにより、子どもたちの思考力・判断力を育成していく。

##### (2) 一人一台端末の積極的活用

引き続き町ICT教育推進委員会を組織し、学校現場の困り間や課題解決に向けた研修会の実施や好事例の横展開等を進め、一人一台端末の一層の活用を目指していく。

### **(3) 学びの保障**

ICT の持つ特性を最大限活用して、様々な理由により登校が難しい児童生徒や、障害等により特別な配慮や支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな対応を行い、すべての子どもたちの学びの機会を保障していくことを目指す。

### **(4) ICT 教育支援体制の充実**

各校へ ICT 教育支援員を配置することで、ICT を活用した授業等を教員がスムーズに行えるようにする。